

学校教育目標 「自ら学び 豊かな心を持ち しなやかに生きる子どもの育成」

めざす児童像 「よく学び よく遊ぶ 笑顔がすてきな北部っ子」

重点目標：学力向上

よく学び・・・学ぶ楽しさを味わう子

◇わかる授業

- ・考えを組み立て学び合う授業
- ・比較検討の場の工夫
- ・ICT教育の充実（児童の活用を増やす）
- ・多くの教職員で子どもを見る授業の工夫

◇系統的・継続的な学習指導

- ・学びに向かう姿勢
- ・学習の振り返り
- ・家庭学習の充実

◇「人から学ぶ」場の設定

- ・地域の教育力を生かした学習活動
- ・体験を通じた実感的な学び

重点目標：豊かな人間関係作り

よく遊ぶ・・・人と豊かにかかわる子

運動に親しむ子

◇豊かな心を育む

- 〈交流活動の充実〉 ・異学年交流
- ・特別支援学級と通常学級の交流
- ・幼稚園、こども園、保育園、中学校、地域の方々との交流

◇健やかな体と心を育む

- ・自分の目標を持って挑戦する子の育成
- ・正課体育、学年体育の充実
- ・専門的な知識を有する方を招いての健康教育、生命尊重の教育
- ・健康観察の重視

北部っ子

5つのあたり前

- 1 気持ちのよいあいさつ
- 2 時間を守る
- 3 話をよく聞く
- 4 困っている人がいたら助ける
- 5 いっしょうけんめい、そうじ

重点目標：一人ひとりの児童への個に応じた支援の充実

笑顔がすてきな北部っ子・・・しなやかな心を持ち、自分のことが好きな子

◇自信を持たせる ・学習や日々の生活で児童が自信を持てる関わりをする

◇「見ていてくれる」「守られている」という安心感 ・いじめの早期発見、早期解決に努める

◇一人一人の居場所づくり ・自分は役に立っているという実感が持てる学級づくり

◇しなやかな心の醸成 ・自信と寛容な心を育み、困難を乗り越えるしなやかな心を醸成